

マークティッシュフェン EXPRESS 圧力鍋 点検のポイント

マークティッシュフェン EXPRESS 圧力鍋の点検ポイントをご紹介します。メンテナンス時に以下の点検をお願い致します。

1)クッキングスライドの作動状況の点検

上蓋の取手部のクッキングスライドがロックの位置までスライドしていない場合、上蓋の蒸気放出口から蒸気が放出され、加圧が出来ません。クッキングスライドの作動状態を確認してください。部品に破損や変形がある場合は、修理が必要です。



2)ゴムパッキンの点検

鍋本体と上蓋のまわりから漏れがある場合は、ゴムパッキンの劣化や食材が挟まっている事などが考えられます。漏れがある場合は、ゴムパッキンと上蓋や鍋本体の部分に、食材等が挟まっていないかをご確認頂き、食材等がある場合には除去してください。その後も漏れがある場合はゴムパッキンの交換が必要です。漏れが無い状態で上蓋開閉時のスライドがかたい場合は、滑り具合の程度にもよりますが、上蓋があかなくなる事があります。サラダ油等の食用油をゴムパッキンの表面に薄く塗ると滑りが良くなりますのでお試しください。



3)自動調理スタートバルブの点検

この部品が働かずに蒸気が漏れ続けている場合圧力はかかりません。点検としては、おもり(ステンレスボール)がみえているか確認ください。もし、おもりが上部(ゴム部品の中)の方に埋まっていたら、上から指で押しておもりが見える位置に戻してください。おもりの位置は問題ないのに蒸気漏れが止まらない場合は、食材が部品の中につまんでいることが考えられます。耳かきなどでおもりを外し、綿棒等に洗剤を付け、部品の内部を洗浄してください。その際におもりを無くさないようにご注意ください。洗浄しても改善されない場合は、部品そのものの劣化が考えられますので、部品交換が必要です。(加圧途中で勢いよく蒸気が放出される場合は部品劣化が考えられます。) また、おもりが無い場合(無くした場合)も圧力がかかりません。この場合も部品交換が必要になります。



4)圧力表示ピンの点検

圧力表示ピンに食材などが付いている場合、ピンの動きに影響します。付着が多い場合は、赤色のピンが固着して動かない場合があります。その場合は、圧力表示ピンの分解洗浄を行ってください。洗浄する際には、細かいブラシ等で部品と上蓋に取付部分を洗浄ください。小さなバネ部品なども付いていますので、無くさないようにご注意ください。洗浄後の部品の組立てが、本来の組立て内容と異なっている場合や、バネ等を付け忘れた場合、圧力表示ピンが正常に動きませんのでご注意ください。



5)加圧テストの方法

鍋にお水 300cc 程度を入れ、上蓋を閉じ、上蓋の取手のクッキングスライドをロックして、調理時と同じように加熱します。自動調理スタートバルブや圧力表示ピンの作動状況、ゴムパッキンから漏れがないかどうかの確認を行います。この加圧テストにて、それぞれの部品が作動し、通常ご使用頂いているように加圧されていることを確認してください。